



「豊かな大阪をつくる」学者の会 シンポジウム 「大阪都構想」を考える

～適正な有権者判断に資するために～

2015年5月17日の住民投票で、大阪都構想つまり「特別区設置・大阪市廃止」が否決された。にもかかわらず現在大阪府市は法定協設置案を議会に提出する事態に至っている。こうした状況を踏まえ、大阪府市で議論されている「特別区＝大阪市廃止」「区の合併」「総合区」等に関わる府市再編問題を、学術的視点から多面的に論じることとしたい。

2017年4月9日（日）午後2時～5時

大阪市立大学（杉本キャンパス）法学部棟3階 730教室 定員200名

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access>

報告者・富田宏治（関西大学教授・政治学）・藤井聡（京都大学教授・公共政策論）

・村上弘（立命館大学教授・行政学）・森裕之（立命館大学教授・地方財政学）

・薬師院仁志（手塚山学院大学教授・社会学）

主催：「豊かな大阪をつくる」学者の会

お問い合わせ先: sec-tba@trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp